

中小企業・地域産業を日本経済の中心に。 「成長と賃金の好循環」に向けた総合経済対策

企業が適切な価格転嫁をすることで、利益増・投資拡大につながり、賃上げが実現する。これらによって、家計が潤うことで消費が増え、その結果、さらに価格転嫁が進み利益が増える。このサイクルを回転させるのが、岸田政権が目指す「成長と賃金の好循環」です。今回の総合経済対策で、目の前の物価急上昇を乗り越えるための支援と、持続的に稼ぐ力を伸ばす成長投資をパッケージで行い、2024年春に見据えた好循環の実現に全力で取り組みます。



1 国際的なエネルギー・物価高から皆様の事業と生活を守る。

燃料油対策を継続（令和6年4月末まで）

レギュラーガソリン

延長後
最大37.1円/㍑

※令和5年10月26日～11月1日の実績

↓
値下げ



210.5円/㍑から**173.4円**に抑制

電気・都市ガス料金の抑制（企業向け）

（令和6年4月末まで継続）

電気(高圧契約)**1.8円/kWh**

都市ガス**15円/kWh**



負担軽減！

※都市ガスは年間契約量
1,000万m³未満の企業等が対象

地方自治体などによる中小企業・地域産業向け物価高対策

地域に合わせた対策を、さらに強化するため**5,000億円**を追加（※重点支援地方交付金の追加による）

中小企業

- 中小企業・商店街・自治会などエネルギー価格負担緩和
- 省エネの取組への支援
- 中小企業の賃上げ環境の整備



農林水産業

- 飼料高騰に対する負担軽減
- 生産・加工施設などの電気料金高騰への支援
- 化学肥料からの転換に向けた支援



医療・介護・保育施設、学校施設など

- 食料品価格高騰分などへの支援
- エネルギー価格高騰分などへの支援
(特別高圧を含む)



物流・交通、地域観光など

- エネルギー価格高騰に対する影響緩和、省エネ対策
- 地域に不可欠な交通手段の確保
- 地域特性を踏まえた生産性向上



2 企業の「人への投資」を強力に後押しする。

企業が成長することで、日本経済の安定と成長につながります。

物価上昇や円安に対応するため、企業による「人への投資」などへの支援を通じ、国民生活も豊かになる「構造的・持続的な賃上げ」に全力で取り組みます。

年収アップ・スキルアップ

キャリアアップ助成金(正社員化の促進)

中小企業: 80万円/人、大企業: 60万円/人へ拡充

非正規雇用者等へのリスキリング支援、デジタル人材の育成など



賃上げ促進税制の強化

賃上げを行う企業に
法人税等の減税措置で、
さらに後押し!



「年収の壁」への対応

収入減を防ぎ、
手取りを増やせます。
(令和5年10月からスタート)



価格転嫁対策の強化

倍増させた下請けGメンにより
下請取引での困りごとを
ヒアリング



3 思い切った投資で、日本の「稼ぐ力」を強化する。

投資促進に全力を挙げることで、現在、過去最大の投資が行われつつある流れをさらに強め、日本企業の「稼ぐ力」を強化。日本経済と企業の成長を促します。

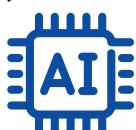
投資減税と戦略投資への支援

半導体、蓄電池、電気自動車等
物流・交通のデジタル化
(2024年問題への対応)



DXの推進及びAIの開発力強化・利用促進

半導体支援、産業サイバーセキュリティ対策、
Beyond5G研究開発支援、
生成AIの開発力強化・
国際的ルール形成主導 など



● 人手不足対応、生産性向上への支援

- 医療、介護、障がい福祉分野の賃上げ支援など
- 事業承継税制の計画提出期限の延長
- 中小企業の省力化投資への支援

● 円安を活かした地域の「稼ぐ力」の回復・強化

- 観光地・観光産業の再生、
農林水産物・食品の輸出拡大など

● GX(グリーントランスマネーション)

- 住宅のヒートポンプ設置
補助額5万円/台 ※戸建て住宅: エネファームを含め2台まで
断熱窓への改築、電気自動車の購入補助など

詳しくは
首相官邸HP ▶ 「デフレ完全脱却のための
総合経済対策」



「企業の成長」「さらなる賃上げ」「消費拡大」による
好循環で、長年、苦しんだデフレから完全脱却!
日本企業と経済を更なる成長軌道へと導きます。